

令和4年 第6回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和4年6月21日（火曜日）午前10時開会／午前10時40分閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 堀川事務局長、平塚次長兼学校指導課長、宮永事務局次長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、梶谷教育庶務課企画官、前田文化振興課企画官、中蔵教育庶務課リーダー

令和4年第6回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 まず始めに日曜日に地震がありました。ちょうど市民会館の3階で「咲む」という映画の上映会の最中でした。10秒ほどゆるやかな揺れがきて、その10秒の間、私は椅子から下りてしゃがんでいたんですが、ほとんどの観客の方たちは何をしていたかという、揺れてもそのまま座っていました。これが震度7とか、上の照明が落ちてきたり建物が倒れるような状況になっていたら、座ったまま埋まっていたかもしれないと思いました。あの緊急地震速報は突然きますから、音を聞いた後の反応が本当に難しいです。避難訓練をよほどしていないと、自分の身を守ることはできないなと実感しました。ですから日頃、学校でも「頭を下に入れなさい」という放送が鳴って避難訓練をしていると思うんですが、放送が鳴らなかったらおそらく座ったままですよ。以前、東京のある学校の様子を見学しました。突然ガタガタという音が放送で鳴る訓練を、休み時間にしたり、授業中にしたり、予告なしでしょっちゅうやっているんです。そのときに棚の横にいる人は離れるとか、そういうことがガタガタという音で、一人一人が判断できるんですね。放送が鳴ってみんなが判断するのではなくて、そういった避難訓練が本当は必要かなと改めて思った次第であります。

そして熱中症のことです。この間から30度を超えないところでも、子ども達が集団搬送されています。文部科学省のマスクの着用の指針も変わりました。体育の時間は基本的にマスクをしないとか、通学のときも基本的にはマスクはしないということに変わったんですが、今の学校の状況を指導主事等に聞きますと、みんなマスクをしている状況です。子ども達は2年前にマスクをしなさいということで、慣れるのに一生懸命で、でも慣れると今度ははずす習慣をつけないといけないということです。そしてまた冬になるとマスクをつけなさいという指導が入るのかなと思いますけれども、子ども達は臨機応変に自分の感覚でできないところがありますので、特に小さな子ども達についてはきめ細かい指導が必要かなと思っています。

最後ですが、白山市で親子が水路に流されるという本当に痛ましい事故がありました。この辺の水路も今水位が上がっていますし、白山市だけの話ではないので、自分達のところと照らし合わせて、やはり危機管理、今地震のこと、熱中症のこと、水路のことを言いましたけれども、いろんなところに危険が潜んでいるということで、しっかりした危機管理が大事だと改め

て思っている次第であります。

それでは議件に入ります。本日審議事項は3件です。議案第25号、加賀市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について、議案第26号、加賀市立図書館資料の貸出しに関する要綱の一部を改正する告示について、2件併せて出淵館長お願いいたします。

- 議案第25号 加賀市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
- 議案第26号 加賀市立図書館資料の貸出しに関する要綱の一部を改正する告示について
出淵館長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 デジタル図書館についてですが、本を3冊まで借りることができて、貸出期間が2週間ということで、デジタル図書館というのは、2週間が終わったら自動的に読めなくなるシステムにできるんだろうと思いますけれども、そのところをもう少し詳しく教えていただけないかなと思います。

○山田教育長 出淵館長、お願いします。

○出淵館長 貸出期間は14日間です。返却というボタンはあるんですけども、14日を過ぎますと自ら返却ボタンを押さなくても自動的に返却されるかたちになっております。書籍については1人3冊までですが、雑誌については冊数の制限はございません。22ページに入り方が載っていますけれども、このデジタル図書館のサイトに、貸出券を持っている方でしたら、貸出券にありますカードナンバーと、パスワードは初期設定はご自身の生年月日をパスワードにしまして中に入ることができます。電子書籍に関しては1人1冊借りていると他の方は見られないんですが、雑誌は貸出券を持っている方はすべて同時に閲覧することができます。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは1件ずつ決を採っていきたいと思います。議案第25号、加賀市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

議案第26号、加賀市立図書館資料の貸出しに関する要綱の一部を改正する告示について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第27号、加賀市市民読書活動推進会議委員の委嘱についてお願いいたします。

- 議案第27号 加賀市市民読書活動推進会議委員の委嘱について
出淵館長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第27号、加賀市市民読書活動推進会議委員の委嘱について賛成の方は挙手をお

願います。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議事項は終わります。

続いて報告事項に入ります。報告第 28 号、令和 4 年 6 月加賀市議会定例会の答弁についてお願いいたします。

- 報告第 28 号 令和 4 年 6 月加賀市議会定例会の答弁について
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 上野議員のご質問に、「特別支援教育への専門性が高く経験豊富な退職教員を特別支援教育アドバイザーとして新たに採用し」と答弁されています。具体的には何名の方を、どのような基準で配置されているのかということをお教えいただきたいです。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 昨年度まで錦城特別支援学校の方で地域サポート教員をされておりました、専門性の高い先生に特別支援教育アドバイザーに就任していただいております。半日勤務なんですけれども、毎日学校訪問を行ないながら、特に 4 月 5 月については、初めて特別支援学級を持たれた先生方への指導助言、質問等を受けてアドバイスもしております。これで 4 月 5 月は一回りしましたので、6 月からは各学校からの要望に応じて、特別支援学級はもちろんですけれども、通常学級にいる支援が必要なお子さんへの支援についての対応、指導を行なっているところです。夏休みについてもアドバイザーによる訪問指導も計画しております、今学校の方からの要望等を受け付けているところでございます。

○篠原委員 やはりこのアドバイザーの先生を有効に活用していただきたいというお願いであります。学校からの要望もあるかもしれませんが、やはりこちらの方から意図的に計画的に派遣していただきたいです。学校からの要望というと、日ごろの多忙感があってなかなか上がってこない場合もありますので、特に新たに特別支援学級を担当された先生方についてはいろいろなことでお困りだと思います。こちらの方から計画的に派遣をしていただけないか、そのような計画をアドバイザーの先生と組んでいただきながら、初めて特別支援学級を担当される先生がお困りにならないようなサポートを継続的に行なっていただきたいという、これはお願いであります。

別の件で、これは以前の定例会でもお願いをしていたことなんですけど、いわゆる放課後塾を昨年度の冬場に実施されましたよね。それでいろんな反省等が上がってきたと答弁にも書かれていますけれども、かもまる塾と放課後塾を合体して一本化するというお話でございました。それを 2 学期からスタートしたいということなんですけれども、具体的に何人の参加者で、どのような効果があったのか、なかなか難しいと思いますが、子ども達の反応もあると思いますし、あるいは塾の先生方の反応もあるかと思うので、それも併せていろいろな課題が出てきたんじゃないかなと思います。そのことについて今回でなくても結構ですので、一度整理をしてお示ししていただきたいと思います。これは要望です。

○山田教育長 人数とか、アンケートも取りましたので、どのような回答があったのか整理し

てお示いただきたいということです。

他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 29 号、加賀市小中学校教職員夏季全体研修会の開催について平塚次長お願いいたします。

- 報告第 29 号 加賀市小中学校教職員夏季全体研修会の開催について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 昨年度はコロナ禍だったので、市民会館で出席者を限定してリモートでの配信でした。大変良い講演でした。今年も期待をしておりますが、やはり悉皆というのが少し引っかけられます。今このような時代ですから、全員で同じところに集まって、皆さんで話を聞くことも大変意義のあることだと思いますけれども、それよりもこの間、藤原先生がされたやりとりができるような講演会を、単に皆を集めて話を聞くだけではなくて、今はアクティブラーニングの時代ですから、先生方にもそういうことに慣れていただきたいです。座って話を聞いているだけでは、同じようなことを子ども達にもしている可能性もありますし、なかなかその考え方も変わるのが難しいと思いますので、やはり自分がアクティブに講師の方と対話するようなグループワークとか、そのようなことを考えていく時代になってきたんじゃないかなと私は感じております。文部科学省が学習指導要領を改正したということをきっかけに、教員の研修のスタイルも今後変わっていくべきではないかなと感じております。これは意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 30 号、オーケストラ・アンサンブル金沢加賀公演について前田企画官お願いいたします。

- 報告第 30 号 オーケストラ・アンサンブル金沢加賀公演について
前田企画官 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。次にその他に入ります。この際ですから、委員の皆さんから何かございますか。

○篠原委員 今、加賀市において、コンピュータ 1 人 1 台の環境ができあがっていますが、学校訪問に伺って、各学校の先生方が端末を使った授業に取り組んでおられて非常に敬服しております。我々は実際にどんなソフトを使っているのか、どういうシステムで動いているのか全然わからないわけですので、例えば校務支援は石川県共通のこういうものを使っているとか、あるいは学習のチュートリアルのことについてはベネッセのなんかを使っているとか、あるいは全体の県の掲示板は Google のなんかを使っているとか、そういうものが子ども達の中に行き渡っていると思うので、そういうことも我々もひとつひとつ学習を深めながら、子ども達の様子も、学校訪問へ行くときの参考にさせていただきたいなと思いますので、そういう基本的なシステムとか、小学校中学校でまた違うと思いますので、その内容を教えていただ

けないかなと思います。これは要望です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○疎委員 この間、大阪の会場で製品の広告をするブースがたくさんあって、その Google のブースで、兵庫県の姫路の教育委員会から来ていた方が、うちは使っていますと、そういった ICT 関係の支援員を、大きな学校だったら週に 1 回は派遣していますなどと言われていたんですが、加賀市でもやっているんですか。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 加賀市においても、ベネッセから派遣されている ICT 支援員を、だいたい月 2 回程度、各学校に派遣しております。

○疎委員 各学校に月 2 回程度ですか。

○平塚次長 各学校に対して月 2 回程度で、その来られる日については各学校に GIGA 推進リーダーという担当がございますので、その先生と事前に打ち合わせをして、1 限目から 6 限目までの授業について、どの学年にどんな支援をしてほしいかということの打ち合わせをします。その打ち合わせにそって当日来られた ICT の支援員さんが、1 限目は 1 年生、2 限目は 2 年生というふうにして教科の学習に支援に入ることもありますし、総合的な学習等で支援に入ることもありますし、さまざまな ICT 支援をしております。先ほど篠原委員からもありましたが、こういう学習をしたいのならばこういうソフトがあるので、これを使ったらどうですかというようなアドバイスをいただいたり、時にはその支援員さんが前に立たれて T-1、そして担任が T-2 というようなかたちで進めて、子ども達の ICT スキルを高めるための学習に取り組んだりもしております。

○疎委員 学校の大きさに関わらず、月に 2 回来ているんですか。

○平塚次長 そうですね。その辺りのところは、単級の学校については手厚くなり、大きい学校については少しそれぞれクラスに入る時間数は少なくなるということはあるかもしれません。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

小茂出課長 説明

○山田教育長 それでは 7 月 26 日火曜日、午前 10 時からということで予定に入れておいてください。

それでは以上で第 6 回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。